
県立高校再編整備計画 後期実施計画

令和 9 年度～令和 1 5 年度
(2027 年度～2033 年度)

(素案)

令和 7 年 (2025 年) 1 0 月
山口県教育委員会

1 はじめに

県教育委員会では、令和4年(2022年)3月に、中・長期的視点に立って本県高校教育の質の確保・向上を図るため、特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備等を主な内容とする「第3期県立高校将来構想」を策定するとともに、本構想で示した方向性に沿って、令和4年度(2022年度)から令和8年度(2026年度)までを期間とする前期実施計画を策定し、着実に高校改革の推進に取り組んでいるところです。

そうした中、県立高校を取り巻く状況は、生徒のニーズの多様化、生成AIの普及等によるDX化の急速な進行、高校授業料無償化など、大きく変化するとともに、中学校卒業者数の更なる減少*が見込まれることから、引き続き、特色ある学校づくりや学校・学科の再編整備を年次的・計画的に進める必要があるため、計画期間を従来の5年間から7年間に延長した令和9年度(2027年度)から令和15年度(2033年度)までを期間とする後期実施計画を取りまとめました。

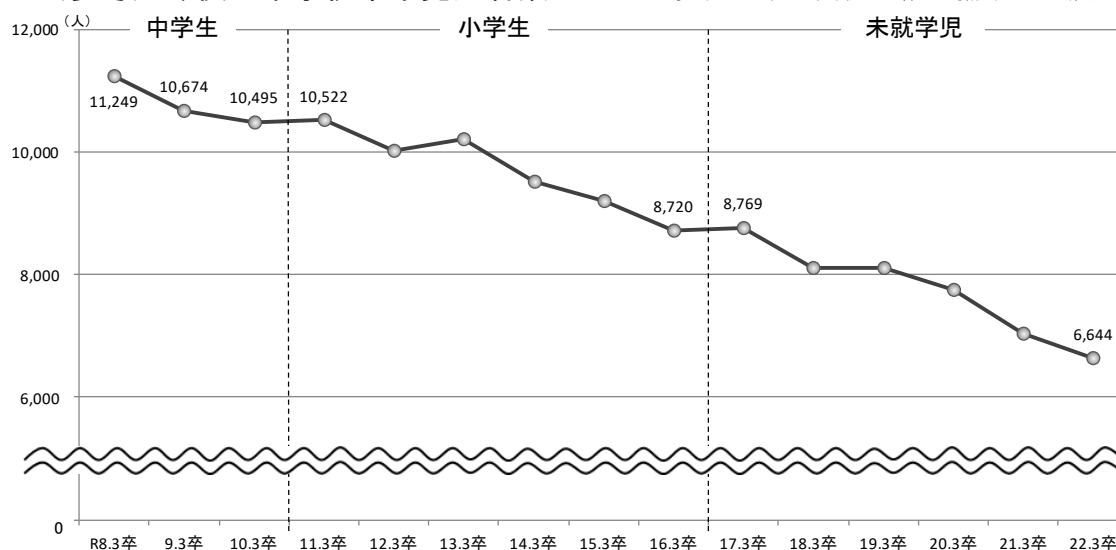
<計画期間の変更について>



(第3期県立高校将来構想の期間も令和4年度から令和15年度までに変更)
(2022年度) (2033年度)

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
第3期県立高校将来構想										→	
前期実施計画：R4～8年度 対象校14校 (2022～2026年度)											
					(変更前) 後期実施計画：R9～13年度 対象校23校 (2027～2031年度)					→	
					(変更後) 後期実施計画：R9～15年度 対象校23校 (2027～2033年度)					R15年度まで2年間延長	

※ (参考) 今後の中学校卒業見込者数 R7.5.1 現在 県立高校再編整備推進室調べ



2 学校・学科の再編整備

(1) 望ましい学校規模

1 学年 4 ～ 8 学級（1 学級当たりの生徒数は原則 40 人）

(2) 再編整備の進め方

【再編整備の基本方針】

- 1 学年 3 学級以下の学校の再編統合を基本として、他の学校との再編統合により、望ましい学校規模を確保
- 再編統合が困難な場合には募集停止について検討し、その際、学校の近接性や学習内容等を考慮しながら、他の学校に教育機能を継承することを検討
- 全日制課程を置く分校については、地元中学校卒業者の入学状況や、今後の入学見込者数を勘案した上で、募集停止を検討
- 再編整備の実施に当たっては、高校教育の質の確保・向上を図る観点や地理的条件、交通事情による生徒の教育への影響等を、総合的に勘案しながら検討

【再編整備の方向性】

- 教科等横断的な学びや他者と協働した探究活動の充実など、学科間連携による教育活動を推進する学校を配置
- 大学等への進学に重点を置く取組や高度な専門性をもった産業人材を育成する取組の充実などを推進するための拠点的な役割をもつ学校を、分散型都市構造にある本県の特性も考慮してバランスよく配置
- 普通科系の学科については、各学校や地域の実情、生徒・保護者のニーズに応じて、特色・魅力ある学びに向けた普通科の改革について検討
- 専門学科については、教科等横断的な学びや他者と協働した探究的な活動等、学科間連携による教育活動を推進するため、再編統合による一定の学校規模の確保や学科改編を検討
- 総合学科については、生徒の学習ニーズや進路状況等を踏まえ、より活力ある教育活動が展開できるよう、学科の在り方について検討
- 定時制課程を置く高校については、多様な学びのニーズに応える学校として、より柔軟な教育システムを構築し、活力ある教育活動を検討

3 実施内容（後期）

（１） 全日制課程

ア 再編統合・募集停止

対 象 校	内 容	実施年度
下 松 高 校 華 陵 高 校	○ 下松高校と華陵高校を再編統合して、普通教育を主とする学科、外国語に関する学科を有する新高校を設置 (校地：下松高校)	令和 1 1 年度 (2029 年度)
豊 浦 高 校 長 府 高 校	○ 豊浦高校と長府高校を再編統合して、両校が行ってきた教育活動を踏まえ、さらなる特色ある学校づくりを推進する新高校を設置 (校地：豊浦高校)	令和 1 2 年度 (2030 年度)
萩 高 校 萩 商 工 高 校	○ 萩高校と萩商工高校を再編統合して、普通教育を主とする学科、文理探究科、商業及び工業に関する学科を有する新高校を設置 (校地：萩高校)	令和 1 2 年度 (2030 年度)
新 南 陽 高 校 南 陽 工 業 高 校	○ 新南陽高校と南陽工業高校を再編統合して、普通教育を主とする学科、工業に関する学科を有する新高校を設置 (校地：南陽工業高校)	令和 1 3 年度 (2031 年度)
宇 部 工 業 高 校 小 野 田 工 業 高 校	○ 宇部工業高校と小野田工業高校を再編統合して、両校が行ってきた工業教育を踏まえ、工業科の教育機能の充実を図る新高校を設置 (校地：宇部工業高校)	令和 1 3 年度 (2031 年度)
岩 国 総 合 高 校 岩 国 商 業 高 校	○ 岩国総合高校と岩国商業高校を再編統合して、両校が行ってきた普通教育と商業等の専門教育を踏まえ、さらなる特色ある学校づくりを推進する新高校を設置 (校地：岩国商業高校)	令和 1 4 年度 (2032 年度)
下 関 西 高 校 下 関 南 高 校	○ 下関西高校と下関南高校を再編統合して、普通教育を主とする学科、文理探究科を有する新高校を設置 (校地：下関西高校)	令和 1 5 年度 (2033 年度)

※ 岩国高校坂上分校、山口農業高校西市分校、萩高校奈古分校については、今後の地元中学校卒業者の入学状況等を勘案した上で、生徒募集の停止を検討

イ 学科改編

■ 未来デザイン科※¹（仮称）の設置

対 象 校	内 容	実施年度
美祢青嶺高校※ ²	○ 地域と連携した課題解決型学習等の探究活動などを通して、大学等への進学や就職に向けた教育の充実を図るため、普通科を学科改編し、特色ある学科を設置	令和10年度 (2028年度)
下関北高校		令和10年度 (2028年度)
高森高校		令和11年度 (2029年度)
防府西高校	○ 普通教育に加え、福祉や保育、芸術等に関する専門教育などを通して、大学等への進学や就職に向けた教育の充実を図るため、総合学科を学科改編し、特色ある学科を設置	令和11年度 (2029年度)

※¹ 令和4年度より設置が可能となった普通教育を主とする学科の名称

※² 美祢青嶺高校の工業に関する学科については、時代のニーズに応じた工業教育を推進するために、学科改編を検討

■ 普通科教職コース、デジタル創造科（仮称）の設置

対 象 校	内 容	実施年度
山口中央高校	○ 教員をめざす生徒への教育の充実を図るため、普通科に教職コースを設置 ○ 大学・関係機関等と連携し、大学等への進学を見据えた情報教育の充実を図るため、情報に関する学科を設置	令和12年度 (2030年度)

(2) 定時制課程

ア 分校の独立

対 象 校	内 容	実施年度
岩国商業高校 東 分 校	○ 多様な学びのニーズに対応するため、午前部と午後部を併せもつ多部制定時制の新高校として独立	令和13年度 (2031年度)

イ 募集停止

対 象 校	内 容	実施年度
岩国商業高校 東 分 校	○ 新高校として独立する準備を進めるため、夜間部の生徒募集を停止	令和10年度 (2028年度)
小野田工業高校	○ 全日制課程の再編統合を踏まえて、生徒募集を停止	令和12年度 (2030年度)

4 その他

(1) 各年度の実施分については、中学生に早期に情報提供することから、原則として当該年度の募集定員の発表前に具体的な内容を公表します。

(2) 再編整備に伴い、へき地や過疎地域等から遠距離通学することとなる生徒に対応するため、公共交通事業者に対し、利便性の向上等が図られるよう働きかけを行うとともに、経済的負担の軽減を行うための支援に取り組みます。

■ これまでの再編整備の状況

年 度	対 象 校		再編整備の内容	新 高 校		
	学校名	課 程		学校名		課 程
平成18年度 (2006年度)	柳井商業高校	全日制	再編統合	柳井商工高校		全日制
	柳井工業高校	全日制				
	徳山商業高校	全日制	再編統合	徳山商工高校		全日制
	徳山工業高校	全日制				
	萩商業高校	全日制	再編統合	萩商工高校		全日制
	萩工業高校	全日制				
平成19年度 (2007年度)	安下庄高校	全日制	再編統合	周防大島高校	安下庄校舎	全日制
	久賀高校	全日制			久賀校舎	全日制
	大嶺高校	全日制	再編統合	青嶺高校		全日制
	美祢工業高校	全日制				
平成20年度 (2008年度)	坂上高校	全日制	分 校 化	岩国高校坂上分校		全日制
	広瀬高校	全日制	分 校 化	岩国高校広瀬分校		全日制
	鹿野高校	全日制	分 校 化	徳山高校鹿野分校		全日制
	徳佐高校	全日制	分 校 化	山口高校徳佐分校		全日制
	熊毛南高校上関分校	全日制	募集停止			
	田布施農業高校大島分校	全日制	募集停止			
	徳佐高校高俣分校	全日制	募集停止			
	奈古高校須佐分校	全日制	募集停止			
平成22年度 (2010年度)	田布施農業高校	全日制	再編統合	田布施農工高校		全日制
	田布施工業高校	全日制				
平成23年度 (2011年度)	大津高校	全日制	再編統合	大津緑洋高校	大津校舎	全日制
	日置農業高校	全日制			日置校舎	全日制
	水産高校	全日制			水産校舎	全日制
平成24年度 (2012年度)	防府商業高校	全日制・定時制	工業科の設置	防府商工高校		全日制・定時制
	徳山北高校	全日制	分 校 化	徳山高校徳山北分校		全日制
	佐波高校	全日制	分 校 化	防府高校佐波分校		全日制
平成25年度 (2013年度)	美祢高校	全日制	再編統合	美祢青嶺高校		全日制
	青嶺高校	全日制				
平成28年度 (2016年度)	下関中央工業高校	全日制	再編統合	下関工科高校		全日制・定時制
	下関工業高校	全日制・定時制				
	奈古高校	全日制	分 校 化	萩高校奈古分校		全日制
平成30年度 (2018年度)	響高校	全日制	再編統合	下関北高校		全日制
	豊北高校	全日制				
平成31年度 (2019年度)			新 設	下関双葉高校		定時制
	西市高校	全日制	分 校 化	山口農業高校西市分校		全日制
	下関西高校	定時制	募集停止			
	下関工科高校	定時制	募集停止			
	(市立) 下関商業高校	定時制	募集停止			
令和 2 年度 (2020年度)	光高校	全日制・定時制	再編統合	光高校		全日制・定時制
	光丘高校	全日制				
令和 3 年度 (2021年度)	徳山高校徳山北分校	全日制	募集停止			
	徳山高校鹿野分校	全日制	募集停止			

■ これまでの再編整備の状況

年 度	対 象 校		再編整備の内容	新 高 校	
	学校名	課 程		学校名	課 程
令和4年度 (2022年度)			新 設	山口松風館高校	定時制・通信制
	光高校	定時制	募集停止		
	防府商工高校	定時制	募集停止		
	山口高校	定時制・通信制	募集停止		
	宇部工業高校	定時制	募集停止		
	小野田高校	定時制	募集停止		
	厚狭高校	定時制	募集停止		
令和5年度 (2023年度)	岩国高校広瀬分校	全日制	募集停止		
	防府高校佐波分校	全日制	募集停止		
	山口高校徳佐分校	全日制	募集停止		
令和6年度 (2024年度)	宇部西高校	全日制	募集停止		
令和7年度 (2025年度)	厚狭高校	全日制	再編統合	厚狭明進高校	全日制
	田部高校	全日制			

○ 今後の再編整備の予定

年 度	対 象 校		再編整備の内容	新 高 校	
	学校名	課 程		学校名	課 程
令和8年度 (2026年度)	柳井高校	全日制	再編統合	柳井高校 田布施農工高校	全日制 全日制
	柳井商工高校	全日制			
	熊毛南高校	全日制			
	田布施農工高校	全日制			
	熊毛北高校	全日制			
			新 設	岩国高校附属中学校	—
				下関西高校附属中学校	—

令和7年(2025年)10月現在